

一般社団法人岐阜県トライアスロン連合 中長期計画（2025～2030年）

トライアスロン競技の普及と競技力向上を通じて、岐阜県民の健康・地域活性化・人材育成に貢献する。

一般社団法人 岐阜県トライアスロン連合
令和8年5月1日 2026年度版

ビジョン（2030年の到達点）



競技人口の底上げと若年層の継続的参加

トライアスロン文化の定着



自主財源比率の向上

持続可能な運営体制の確立



岐阜県を核とした小規模大会運営

全国から注目される小規模大会の実現



一貫強化体制の構築

ジュニア・国スポ・トップレベル競技者までの育成



課題と現状整理（2026年現在）

会員数減少

コロナ後によりやく160名台に回復

財務体制

企業協賛等を考慮した安定した財源確保

人材担い手不足

事業運営に必要な人材の確保

国スポ関連支出

離島・遠方開催時など補助対象外の出費増加があるが
選手・監督育成の観点から派遣ルールの再定義を行う

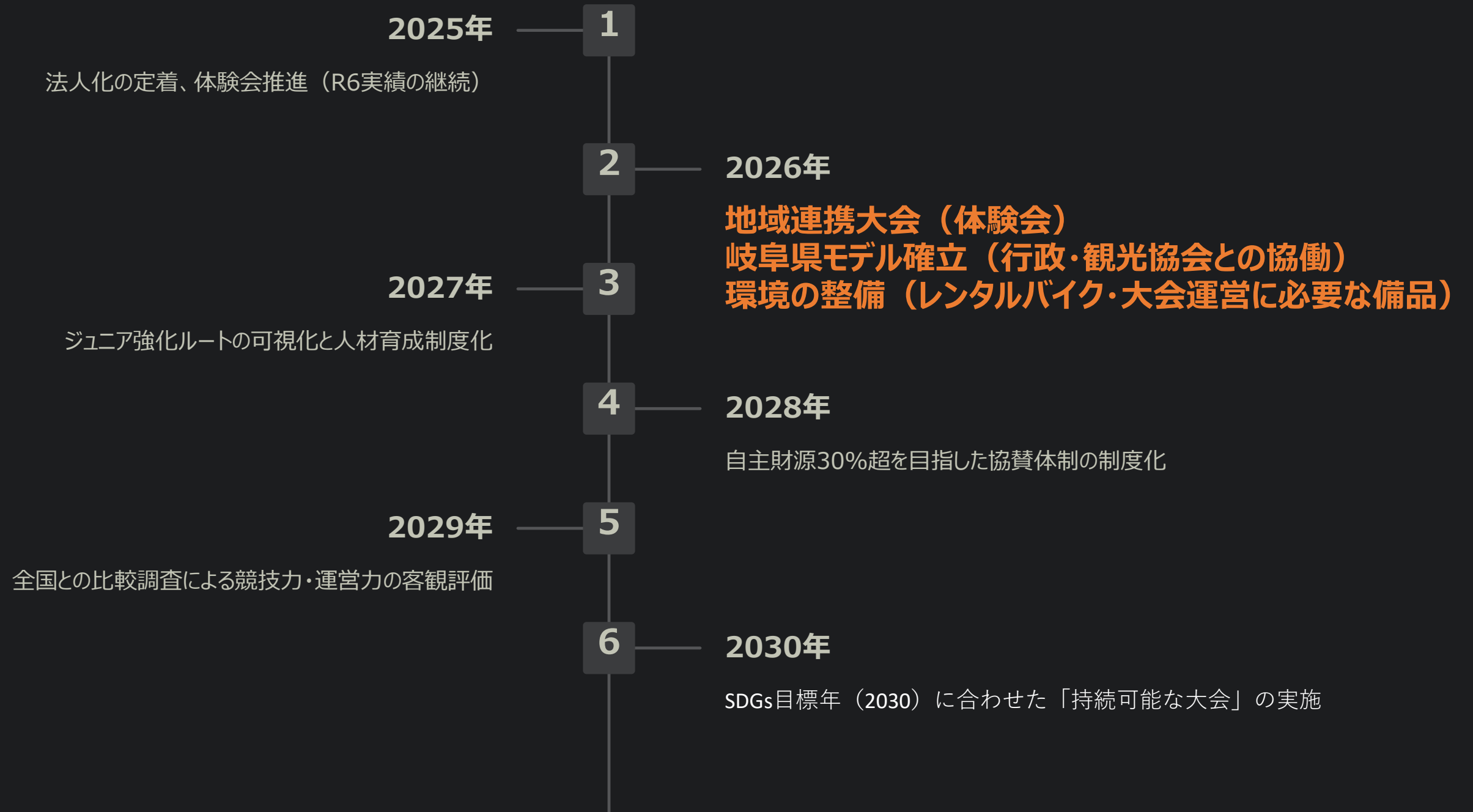
東海ブロック連携

大会・事業・備品等の東海ブロック内での連携を検討

中長期目標（2025～2030）

会員拡大	会員数200名超を安定化	体験会の定期開催、高校・大学との連携 他団体（水泳連盟等）との連携による拡大
財務安定	正味財産を年10万単位で積立	協賛制度設計（パートナー制度化） 岐阜県補助金の増額要求、民間補助金の獲得
人材育成	審判10名以上、コーチ資格者3名体制	年1回以上の審判員講習会開催、資格取得 補助制度（岐阜県補助制度の活用）
ジュニア育成	ジュニア大会の安定運営と強化合宿	体験→大会→強化合宿の一貫ルート構築
競技力向上	国スポ・全国大会での上位進出	合宿の体系化、外部コーチ招聘、認定記録会 の活用
地域貢献	地元開催大会の観光・経済波及効果	地元自治体・企業と大会連携（宿泊・観光情 報の発信によるWin-Winの関係構築）

年度別重点方針



リスクと対策



リスク	対応策
補助金の減額	年間協賛メニューの再設計、 法人スポンサー制度
人材不足	ボランティア登録制、謝金制度の 見直し（交通費・日当）
財政圧迫	正味財産の目標的積立（年 間運営費分の確保）
競技者層の高齢化	ジュニア層の発掘と保護者向 け体験PR

KPI (2026年度目標指標)

170+

会員数

安定的な会員基盤の確立

2+

大会数

体験会を含む実施回数

2+

協賛企業数

15+

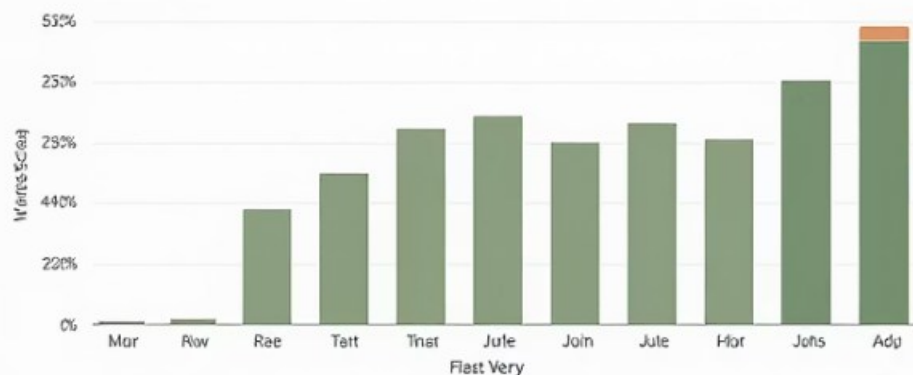
資格保有者の保持

正味財産額：年間運営費相当額を社内留保

Key Performance Indicators



Team Performance



Key Metrics

Cre	\$73.0%
Cote	\$974.5%
Total	\$73.5%
Anninasion	\$1,37.00
Oler Formane	\$5%
Social Media Engagement	\$0%

Tops \$16.5%

Revenue Sources

